



TITLE:

静脩 Vol. 50 No. 4(2014.1)[全文]

AUTHOR(S):

CITATION:

静脩 Vol. 50 No. 4(2014.1)[全文]. 静脩 2014, 50(4)

ISSUE DATE:

2014-01-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/180297>

RIGHT:

静脩

SEI-SHU



特集

桂キャンパス
図書室見聞録

CONTENTS:

- 02 特集：桂キャンパス 図書室見聞録
- 05 KURENAIコンテンツ紹介
- 06 教員寄贈図書
- 08 図書館・室からのお知らせ

2014.01
Vol.50 No.4

桂キャンパス 図書室見聞録

2003年に開学した桂キャンパス。工学研究科が段階的に移転してきましたが、2013年に16専攻の移転が完了しました。工学研究科の研究活動を支援する図書室も、各系の移転に合わせて開設され、現在地球系、建築系、物理系、電気系、化学系の5つの図書室がサービスを提供しています。京都大学の学生諸君や教職員諸氏でも、工学研究科でなければあまりなじみがないであろう桂キャンパスの図書室。この特集を読めば少し身近になるかも・・・

桂キャンパスの図書室について

～図書館機構長 引原隆土工学研究科教授より～

工学研究科が桂キャンパスに移転を開始したのは2003年7月です。それから10年の歳月が過ぎました。昨年、材料工学専攻のみを残し、工学研究科16専攻が桂キャンパスに落ち着きました。工学研究科に進学する学生の殆どは工学部に所属して居り、3回生までは吉田キャンパスにおいて、共通基礎教育、専門基礎教育を受け、附属図書館、総合人間学部図書館、各学科図書室の図書および資料を利用しています。進級と同時に研究室に配属され、また大学院に入学した段階で、大半が桂キャンパスに移動します。現在開設されている桂キャンパスの各図書室は、当然研究主体の専門に特化した図書室の集合体となっています。

工学研究科及び京都大学では図書館機構の了解の下、桂キャンパスに図書館を建設する予算申請して参りましたが、これまで希望は適えられていません。この10年の間に、図書館を巡る状況は大きく変わりました。電子ジャーナルを主体とする論文検索が主となり、電子ブック、さらにはedXなどの世界的なWeb講義などが現れました。計画の推進には、工学研究科が工学教育と関連する情報流通を再考し、世界に先駆けて実施して行く斬新なアイデアが不可欠です。関係各位には、設置が決まってから考えるのではなく、積極的に実現する将来に向けた機能やスペースの提案をお願いしたいと思います。

本特集では、桂キャンパスにある図書室の紹介とその利用法についてまとめて頂きました。これから桂キャンパスで研究を開始する皆様の助けになれば幸いです。



電気系図書室にて



化学系図書室にて
図書館協議会協議員
吉崎武尚工学研究科教授と



地球系図書室

桂地球系図書室では、土木工学、環境工学、資源工学に関する図書や雑誌を所蔵しています。特色のある資料として、旧帝国大学の学生が日本近代の鉱山や炭鉱の状況について執筆した「実習報文」が挙げられます。閲覧スペースはこじんまりとしていますが、書庫が4か所に分散しており、見た目以上に多くの資料があります。吉田キャンパス各図書館・室の図書を取り寄せるサービスポイントとしてもよく利用されており、留学生のみなさんの利用が多いのも一つの特徴です。

(C1棟1F 143号室)



建築系図書室

建築構造、建築計画、都市・地域、建築論、建築史、建築環境、建築生産の図書や雑誌を所蔵しています。いろいろな分野の知識を総動員して、建築というものが考えられており、年何回か、図書室前などに学生が制作した建築模型やパネルが並びます。その際は学生がコンセプトを説明し、教員が講評するという光景も見られます。もちろん高度に専門分化したテーマを掲げた修論・博論も、図書室に所蔵しています。

(C2棟4F 411号室)



2013年にオープンしたばかり

物理系図書室

工学研究科桂物理系図書室は、工学研究科物理工学科の桂キャンパス移転に伴い、2013年1月にオープンした新しい図書室です。

こちらでは主に、機械理工学専攻・マイクロエンジニアリング専攻・原子核工学専攻・航空宇宙工学専攻に所属する教員・大学院生等の研究サポートの役割を担っております。

(C3棟1F a1S04-1号室)



過去の修論も所蔵

電気系図書室

電気系図書室(桂)は、桂キャンパスのAクラスター内にあり、電気・電子工学分野を中心とした図書約5,200冊、雑誌約280種類を所蔵しています。所蔵資料は少ないのですが、他キャンパスや学外の図書館からの文献取寄せにより利用者の要求に対応しています。電気系所属の方は24時間365日入室できるため、夜遅くまで勉学に励む利用者の姿が見受けられます。

また、大判プリンターを設置しており、学会ポスターなどの印刷によく利用されています。

(A1棟2F 207号室)



図書室の一部はガラス張りになっていて、歴代ノーベル化学賞受賞者の名が記されている

化学系図書室

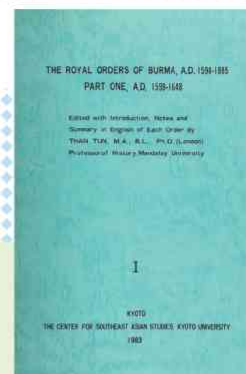
化学系図書室はその名の通り、化学に関する情報に特化した図書室です。桂キャンパスの5つの図書室の中では最も広く、閲覧席数も最大です。

桂キャンパスに所属している化学系の学生・教職員であれば、学生証・職員証などをキーとして、24時間365日入室できます。蔵書数は多くないので、吉田キャンパスの図書館・室から本を取り寄せるなど、他の図書館と連携協力して、皆さんのニーズに答えるようにしています。

(A2棟B1F 006号室)

桂キャンパスは京都大学の他のキャンパスから離れており、また桂キャンパス内でも広大な敷地に施設が点在しています。このような条件でも快適な図書室サービスを受けていただけるよう、オンラインサービス(MyKULINE)、資料取り寄せサービス、キャンパス間返送サービスなどを整備しています。桂キャンパスの図書室に行ったことがなくても、各図書室の資料を利用したことのある方は少なくないでしょう。物理的な距離はあれど、桂キャンパスの図書室は京都大学図書館機構の中中で有機的に繋がっているのです。

東南アジア研究所の設楽成実先生に、「THE ROYAL ORDERS OF BURMA, A.D.1598-1885」をご紹介します。



設楽成実（東南アジア研究所 助教）

The Royal Orders of Burma, A.D. 1598-1885 (10 vols.)

Edited with Introduction, Notes and Summary in English of Each Order By Than Tun, M.A., B.L., Ph.D.(London) Former Professor of History, Mandalay University 1983-1990. Kyoto: The Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University.

<http://hdl.handle.net/2433/173188>

The Royal Orders of Burma, A.D. 1598-1885 は、タン・トゥン博士（Prof. Tan Thun 1923 – 2005）編纂による、1598 ～ 1885 年に公布されたミャンマー（ビルマ）諸王の布告集である。ミャンマー史研究者として名高いタン・トゥン博士は、1982～87 年にかけ東京外国語大学や当研究所等の日本の大学にて研究を行われ、また 2000 年にはアジア文化の保存と創造に貢献した者に贈られる福岡アジア文化賞を受賞されるなど日本とのかかわりも深く、ご存じの方も多いであろう。

福岡アジア文化賞選考の際に代表的な業績の一つとしても挙げられた本書は、現存する王朝時代の勅令関係文の写本を収集し、史料批判の上まとめたものである。布告は年代順に整理され、ミャンマー語による原文に加え、博士による英語の抄訳と解説が付されており、ミャンマー語を解さない読者にもわかりやすい構成となっている。また、最終巻にはミャンマー語の語彙集とインデックスが用意され、読者は自身の関心に基づき布告を逆引きすることができる。

布告の内容は開戦の宣告といった国家全体にかかわるものから、一奴隷の解放といった個人的なレベルの話まで多岐にわたり、読者に当時の社会を知る手がかりを与えてくれる。また、博士が 1 巻の Introduction でも述べているように、各法令はその発布者である王自身の考え方を色濃く反映しているものの、王が社会の伝統や宗教に背く法令の発布を行うことはほとんどなかったため当時の風潮や価値観を映しだすものとなっている。この点からも本書はミャンマー研究における重要な史料の一つとなっていると言える。

本書は、博士が外国人研究員として滞在されたことが縁で当研究所より発行された。一部の巻はすでに絶版となっていたため当研究所の図書室に問い合わせをいただくことも多かったのだが、このたび東京外国語大学斎藤照子先生および斎藤紋子先生のご尽力により、博士のご遺族 Mrs. Daw Khin Yi 氏の了承を得て KURENAI にて全文公開される運びとなった。今回の PDF 版の公開がミャンマー史研究のさらなる発展の一助となれば幸いである。

なお、東南アジア研究所は KURENAI にて当研究所発行の学術誌『東南アジア研究』（1963 年創刊）および Southeast Asian Studies (2012 年創刊) の全文公開も行っている。両誌は、レフェリー制度のもと、自然科学分野から人文・社会科学分野にわたる多様な分野の東南アジア地域に関する論考を掲載している。東南アジア研究者のみならず、東南アジアに興味や関心をもつ方々にも是非活用いただけたらと思う。

参考文献

福岡アジア文化賞 H P : <http://fukuoka-prize.org/laureate/prize/acd/thantun.php> (2013 年 12 月 5 日アクセス)

京都大学学術情報リポジトリ KURENAI とは：リポジトリとは「保存庫」という意味で、京都大学の博士論文や先生方が書かれた論文、紀要などを収録して、web で世界中からアクセスできるようにしたデータベースです。 <http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/>

京都大学学術情報リポジトリ
KURENAI 紅
Kyoto University Research Information Repository

教員寄贈図書

所属部局	寄贈者氏名	寄 贈 図 書 名	出 版 者	出版年
教育学研究科	川崎良孝	秘密性とプライバシー：アメリカ図書館協会の方針	京都図書館情報学研究会	2012
名誉教授	西田吾郎	数、方程式とユークリッド幾何：ガロア理論から折り紙の数学まで	京都大学学術出版会	2012
情報学研究科教授	松山隆司	3D video and its applications	Springer	2012
名誉教授・元総長	尾池和夫	四季の地球科学：日本列島の時空を歩く	岩波書店	2012
教育学研究科	川崎良孝	中国の大学図書館における学習支援に関する調査報告	京都図書館情報学研究会	2012
工学研究科	佐藤裕一	フランソア喫茶室：京都に残る豪華客船公室の面影	北斗書房	2010
教育学研究科	川崎良孝	メインストリートの公立図書館：コミュニティの場・読書のスペース・1876-1956年	京都図書館情報学研究会	2012
生命科学研究科	石川冬木	デヴィータがんの分子生物学	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2012
人文科学研究所	水野直樹	「図録」植民地朝鮮に生きる：韓国・民族問題研究所所蔵資料から	岩波書店	2012
教育学研究科	川崎良孝	公立図書館で知的自由を擁護する：現場からのシナリオ	京都図書館情報学研究会	2012
文学研究科	川添信介	中世の哲学	京都大学学術出版会	2012
教育学研究科	川崎良孝	デジタル情報資源の検索 増訂第4版	京都図書館情報学研究会	2012
名誉教授	苅阪直行	道德の神経哲学：神経倫理からみた社会意識の形成	新曜社	2012
高等教育研究開発推進機構	安原和也	英語学術基礎表現データベース(平成23年度(2011)ー平成25年度(2013)日本学術振興会学術研究助成基金助成金(基盤研究(c))「英語学術表現の教材開発に関する基礎研究」研究成果資料集)	京都大学高等教育研究開発推進機構 安原和也研究室	2013
人文科学研究所	村上 衛	海の近代中国：福建人の活動とイギリス・清朝	名古屋大学出版会	2013
名誉教授	山口 巖	カールシュタイン城夜話	風濤社	2013
教育学研究科	川崎良孝	上海の図書館と社会：1840-1949年	京都図書館情報学研究会	2013
教育学研究科	川崎良孝	図書館と啓蒙主義	京都図書館情報学研究会	2013
農学研究科	野田公夫	農林資源開発の世紀：「資源化」と総力戦体制の比較史(農林資源開発史論1)	京都大学学術出版会	2013
農学研究科	野田公夫	日本帝国圏の農林資源開発：「資源化」と総力戦体制の東アジア(農林資源開発史論2)	京都大学学術出版会	2013
経済学研究所	田中秀夫	近代社会とは何か：ケンブリッジ学派とスコットランド啓蒙	京都大学学術出版会	2013
地域研究統合情報センター	貴志俊彦	亀田治メモランダム(旧KDD同軸海底ケーブル建設事業覚書)	京都大学地域研究統合情報センター	2013

所属部局	寄贈者氏名	寄 贈 図 書 名	出 版 者	出版年
工学研究科	Gill, Stephen Henry	Dictionary of gemstones & jewelry	IMACBC	2013
地域研究統合情報センター	DE JONG, Wilhelmus・Adrianus	A qualitative analysis of livelihoods in community forestry in the Northern Bolivian Amazon	Promab Scientific Series15	2013
名誉教授	間野英二	パープル：ムガル帝国の創設者	山川出版社	2013
文学研究科	中村俊春	芸術家と工房の内と外：学習・共同制作・競争の諸相(科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書；平成21～24年度)	[中村俊春]	2013
人文科学研究所	田中雅一	コンタクト・ゾーンの人文学 3巻4巻(付全4巻総索引)	京都大学人文科学研究所	2012
人間・環境学研究科	廣野由美子	ジョージ・エリオット	彩流社	2013
防災研究所	角 哲也	ダム科学：知られざる超巨大建造物の秘密に迫る	ソフトバンク クリエイティブ	2012
教育学研究科	川崎良孝	普遍的な図書館：移行と超越	京都図書館情報学研究会	2013
名誉教授	山口知三	激動のなかを書きぬく：二〇世紀前半のドイツの作家たち	鳥影社・ロゴス企画	2013
名誉教授	山口知三	アメリカという名のファンタジー：近代ドイツ文学とアメリカ	鳥影社・ロゴス企画	2006
名誉教授	山口知三	ドイツを追われた人びと：反ナチス亡命者の系譜	人文書院	1991
人間・環境学研究科	河崎 靖	ドイツ語学を学ぶ人のための言語学講義	現代書館	2013
工学研究科	V. Mygdalskyy	Японско-Русско-Английский словарь математической терминологии = 日露英数学用語集	"Астропринт"	2013
工学研究科	V. Mygdalskyy	Рякуго：сокращения в современном японском языке = 略語	"Астропринт"	2013
名誉教授	福岡和子	あめりかいきものがたり：動物表象を読み解く	臨川書店	2013
医学研究科	木原雅子	Sex behavior of teenagers and contemporary Japan : the WYSH Project	Sanko Pub	2011
名誉教授	苧阪直行	注意をコントロールする脳：神経注意学からみた情報の選択と統合	新曜社	2013
名誉教授・元総長	尾池和夫	俳景：洛中洛外・地球科学と俳句の風景	宝塚出版	2013
人間・環境学研究科	水野尚之	信頼	英宝社	2013
教育学研究科	川崎良孝	図書館と中立性	京都図書館情報学研究会	2013
名誉教授	苧阪直行	美しさと共感を生む脳：神経美学からみた芸術	新曜社	2013
教育学研究科	佐藤卓己	舆论与世论	南京大学出版社	2013

受入期間：2012/6/1～2013/10/31 寄贈受入順（敬称略）

この一覧は附属図書館への寄贈者著作のみの掲載となっております。また所属部局は、寄贈時のものです。

上記以外にも多くの図書を各図書館・室にいただきました。

今後とも蔵書充実のためご寄贈いただきたくよろしくお願いいたします。

図書館機構

KU Libraries
Workshop & Event

図書館機構では、各図書館・図書室で行っているイベントや講習会を一つにまとめた

ガイドを発行しています。
今月はどんなイベントがあるのかな?と思ったら、このガイドをチェックしてみてください。



■どこで入手できるの?

- ①各図書館・図書室のカウンター
- ②図書館機構ホームページ>学習/研究サポート>講習会>今月の講習会・イベントのご案内

附属図書館

1階・3階を一部改修し
新しい学習エリアを作ります!

附属図書館に新たに「ラーニング・コモンズ」と「サイレント・エリア」ができます。

この改修に伴う工事のため、2月から3月にかけて、閲覧席の一部にご利用になれないエリアが発生します。

改修工事期間 平成26年2月～3月

詳細は、ホームページ及び館内の掲示等にてご案内します。

また、この他にも、レンガ壁の点検補修等、各種修繕工事を予定しております。

工事期間中は何かとご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

人環・総人図書館

ホームページリニューアル

人環・総人図書館のホームページを、平成25年12月リニューアルしました。

デザインを刷新し、図書館の使い方をわかりやすく説明するTipsや講習会の資料、当館オリジナルブックカバーなど、新しいコンテンツを追加しました。

また、図書館に限らず、京大の新着情報などを提供しています。

スマートフォン、タブレット等からも見やすく、使いやすいウェブサイトを目指して、今後も充実をはかっていきます。



理学部中央図書室

貴重書展示「海を伝える」開催報告

理学部中央図書室では、総合博物館との共催で、海に関する貴重書の展示を行いました。

昔海を旅した人々の記録や美しく彩色された動植物の図版などを展示し、非常に好評でした。



日時：2013.12.11(水)～2014.1.12(日)

場所：京都大学総合博物館2階 第二総合展示室

展示資料：平成24年度修復済の貴重書のうち、バジル・ホール著「朝鮮・琉球航海記」など7冊